

陶芸

○活動場所：創作工作室、研修室1、研修室2

○所要時間：2時間30分～3時間（準備、制作、後片付けまでを含めての時間です）

○対応人数：40名（1テーブル4～5人）活動場所によっては最大65人まで可

○団体に準備するもの：陶芸用粘土（ネイパルで購入可 2人用1セット300円）

当日の座席割り、エプロン

1 事前準備



はさみ



陶芸用粘土



机用・床用

陶芸用ぞうきん



陶芸用道具



粘土板



たたら板



長パイプ ・ 短パイプ

箱の中に入ってる物



新聞紙 ・ 型紙



へら



なめし革 ・ スポンジ



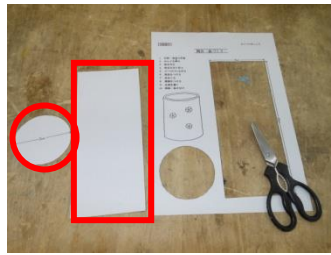
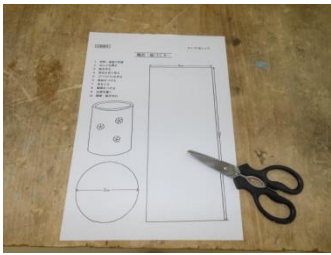
はし



おわん

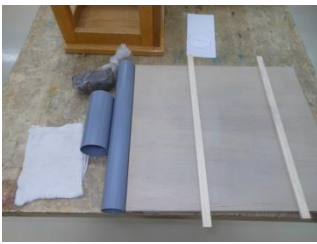
2 作業手順

① 型紙を切る



- 型紙は1人1枚使用。
- 最初に切り取っておく。
- 紙以外は工作室の後ろにある
- ごみ箱へ捨てる。(紙ごみ)
- 使用したはさみは片付ける。

② 個人で使用する道具を準備



粘土版、パイプ（長・短）
たたら板2枚、型紙、粘土
陶芸用ぞうきん、資料



陶芸用の雑巾を水で濡らしておく。

- 粘土は2人で1つ使用。
- へらを使って切り分ける。

③ 粘土を練り、部品を作る



30秒ほど練る。



たたら板を2本置き、長パイプで粘土をのぼす。



伸ばした粘土の上に型紙を置き、へらを使って部品を切り取る。切り取った部品は濡れ雑巾へ
切り取った粘土をまとめて練り、もう一つの部品を切り取る。

(大きく伸ばし1度で2つ取っても構いません)



切り取った部品、余り粘土は乾かないように濡れ雑巾にくるんでおく。
型紙は部品を切り取った時点で紙ごみへ捨てる。
汚れのひどい紙は埋め立てごみへ。

④ どべを作る

※各グループで早く部品を切り取り終わった人が作ります。

おわんに水を少量入れ、親指1本分くらいの余り粘土を人数分入れどろどろの状態を作る。



- どべ作りが終了するまでの間に新聞紙を1人1枚配布する。
- 新聞紙は濡らさないこと。

⑤ 部品をつける



短パイプの端と新聞紙の端を合わせて巻き付ける。

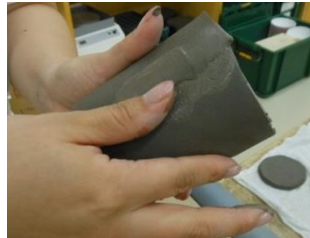
※どべを作った人の分は同じグループの人が巻いてあげましょう。

切り取った粘土の端を合わせて巻き付ける。



粘土が重なり合う部分にへらで傷をつける。

傷をつけた部分にどべを塗る。



重ね合わせたら、指で粘土をならして凹凸をなくす。

筒の底も同様にへらで傷をつける。



底の端もへらで傷をつける。

両方の底へどべを塗り、くっつける。



ひっくり返して底を上パイプを持つ。

底から下へ向かい、指でならす。



新聞紙を粘土に沿って切り取る。



パイプと粘土を持ち少し回す。



パイプを抜く。



中の新聞紙を抜く。



なめし革（指でも可）で飲み口をなめらかにする。



基本系が完成。

⑥ 模様をつける。



飲み口を広げる



取っ手をつける



絵や模様を描く



形を変える

※余った粘土で取っ手や模様を付ける場合は、合わさる部分にへらで傷をつけて、どべを塗って接着します。

※余り粘土で取っ手や模様以外にもう1つ作品を作っても構いませんが、サイコロのように粘土が中に詰まっている作品は水分が抜けず、焼く際に水蒸気爆発を起こしますのでおやめください。

⑦ 名前を書く



- 作品が完成したら、箸やへらを使って底に名前を書く。文字が薄いと焼き上がり時に消えてしまいます。名前を書いたら、指導者へ見せて、青いコンテナへ置く。

⑧ 片付け



①濡れた雑巾を使って使用した道具についている粘土を落とす。お椀は水洗い。使用後のふきんは洗ってから干す。（粘土版、たたら板は水洗いをしないでください）

②テーブルの上を机用ふきんできれいにふく。

③いすをテーブルの上にあげて、床を掃く。

④流しまわりの床がよごれていたら床用ふきんでふく。

3 その他

作品が完成するまで、3～4か月程かかります。完成後は直接取りにきていただくか着払いでの発送となります。